

1学期終業式、分教室「体験入学」

7月20日（木）に、本校舎と分教室でそれぞれの終業式が行われました。

また、くまもと芦北療育医療センターに入所している訪問教育の終業式も7月18日～20日の3日間で、個別にベッドサイドで実施しました。

終業式では、1学期間を振り返って、児童生徒がそれぞれの学習や学校行事に精一杯取り組んで頑張っていたことに触れ、7月21日から8月31日までの夏休みを有意義に過ごしてほしいということをお話しました。

節目にあたり、これまでを振り返ったり、次のステップに移る際の見通しをもったりすることは、とても大切なことだと思っています。そういう意味では、1学期の終業式を実施して、児童生徒がその大切な振り返りと見通しをもつことができたのは、これから（未来）につながることになり、とてもよかったと思います。

翌週の7月25日（火）には、佐敷分教室の体験入学がありました。

教育課程や学校生活の説明等の後、「職業」の授業で実施している作業学習の体験を行いました。参加生徒には、農園芸班、紙工芸班、手工芸班、3つのグループを全て体験してもらいました。帰りに、ピーマン等の野菜や花・手紙セット・さをりのコースター等の作業製品販売も行い、保護者や引率の先生方にも購入していただき、佐敷分教室を知っていただくよい機会となったと思います。

作業製品の販売に関する事として、7月1日（土）に予定されていた「道の駅でこぼん」での販売会は、大雨のため中止としました。後日、地域の方から「販売会がなくて残念だった」という声を頂戴しました。連絡等の不備がありながらも、温かい励ましの声に、一層の努力をしていかなければと思いを新たにしたところです。また同時に、地域の皆様に支えられて本校の教育活動は成り立っていることを改めて痛感しました。本当にありがとうございます。

今後とも芦北支援学校本校舎及び分教室をどうぞよろしく申し上げます。

令和5年（2023年）7月27日

芦北支援学校長 井口 英里